

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこクラブ清水		
○保護者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年3月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置数を多くすることにより、児童それぞれの特性にあわせた細やかな個別支援を提供しています。	様々な年代のスタッフが、特に中高校生の利用児童が多い施設である当施設の中で、思春期特有の悩み・進学や就職などの相談を個別で対応をする事で支援に繋がっています。	スタッフの定着、また質の向上を行うための会議や研修を充実して行うため、グループ全体でのスタッフ勉強会の実施など様々な取り組みを行っています。スタッフも一緒に成長できる施設を目指します。
2	活動プログラムが固定化されないように工夫しています。当施設では特に公共交通機関の移動支援、職業体験、PCを使った様々なプログラム(タイピング・オフィスソフト等)に取り組んでいます。	年間、季節、月間イベントをグループ全体で検討し、各スタッフが様々な意見を出し合う事で児童たちの楽しみや療育に繋がるプログラムを作成しています。中高生のためのイベントやプログラムも充実しています。	施設が提示するプログラムだけを児童に取り組むのではなく、保護者様、児童・スタッフからも意見や要望を聞き取り様々な視点から、将来を見据えたプログラムを今後も継続して取り組みます。
3	定期的な外部より臨床心理士を招き、より専門性のある知見からアドバイスを行う、療育会や保護者を含めた家族への支援・学校・地域の発達センターや医療機関との連携も行っていきます。	療育会による支援内容や取り組み、児童の特性に応じた各機関との面談や情報共有を行い、さらに多様な意見を取り入れた取り組みを行っています。	療育会での内容や取り組みをケーススタディとする等、職員の成長やスキルアップにつなげる研修や勉強会、関係機関で得た情報を職員で共有して取り組みの幅を広げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない (地域の子どもや住民との交流の機会が少ない)	コロナやインフルエンザなど感染予防対策を最優先に掲げ、実施してきたため	様々なイベントの企画を検討して、地域の方と交流できる機会を作っていく。
2	業務継続(BCP)、安全計画、各種マニュアルが策定されているが、保護者様への周知が充分ではない。	SNSやホームページ上で告知をしていないため	契約時、モニタリング時などの面談時にしっかりと告知を行い周知してもらう。
3	父母の会や保護者同士の交流の場が少ない。	児童を最優先するために多々のイベントを企画してきたが保護者様を交えた交流イベントは企画できていなかった。	今後はどんたくイベントやバザー開催など、保護者様が参加できるイベント以外でも、交流できるイベントができないか?検討いたします。

事業所名	たけのこクラブ清水
------	-----------

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 37名

配布世帯数16世帯

回収数 13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90%	5%		5%	児童が多いときはせまいと言っていた。	高学年児童が多く、体も大きいので児童が多い時は活動を分け、落ち着いた活動ができるよう対応します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95%			5%	多いと思う。	スタッフの量だけではなく、質も向上するため、研修等を強化いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	71%	14%		14%		状況に応じて配慮の検討をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	86%	5%		9%	モニタリングなどで施設に行くが、非常に綺麗で楽しそうだった。	児童が楽しく、清潔に過ごせる環境をこれからも提供していきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%	5%		5%	こどもの話をしっかりと聞いてくれる。	各児童の特性を理解しつつ、悩み・相談をしっかりと聞き、その児童にあった支援を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	48%			52%	わからない	3月に公表したばかりなので、各保護者様にわかるように周知していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				保護者の要望を取り入れ、児童の特性や性格も考慮してくれ、計画書を作成してくれている。	今後も、児童の特性および保護者様のニーズに応じた、計画書を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	86%			14%	計画書に分かりやすく明記してくれている。	ガイドラインに沿った計画書の作成を行いつつ、分かりやすく、具体的な支援内容を設定して支援を実行していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	90%	5%		5%		計画に沿った支援を今後も継続して行っていく予定です。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				色々なイベントやプログラムがあり、子供も楽しみにしている。	様々な工夫を凝らして、マンネリ化しないように今後も作成していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	62%		5%	33%	公園にきている他の子どもたちと遊んだというはよく聞く。	現在、イベントなど、積極的に交流を行っているないので、今後必要であれば検討いたします。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%			5%		今後も分かりやすく丁寧にご説明をさせていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95%			5%		担当者会議、モニタリング時以外でも必要に応じ、説明をいたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	67%		24%	9%	療育会に参加したことがある。ためになった。 ・あるのであれば参加したい	毎月1回、保護者様を交え療育会を実施しています。参加して頂けるよう周知していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90%	10%			連絡帳で利用中の様子など分かりやすく記載している。	連絡帳だけではなく、送迎の場面でも情報共有を行い、状況に応じて迅速にご連絡を行います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				急な相談でも応じていただけた。	半年に1回のモニタリング以外でも臨機応変に支援をさせていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	81%	14%		5%		児童、保護者様のお気持ちに出来る限り寄り添う支援を今後も努めていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	57%		29%	14%	あるのであれば参加したい。	毎年、5月にどんたくイベントを通じ保護者様との交流の機会を設けていますが他にも何か出来る事がないのか、検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	5%		5%	色々な相談を聞いてくれ、情報を教えていただいた。・急な利用も心よく引き受けてくれた。	相談があれば、迅速に対応を行います。また、様々な相談に対応できるよう、常に情報収集を心がけ、適切な対応ができるよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	10%				今後も、報連相の徹底を行います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	76%	14%		10%		HPの更新など、何か変更がありましたら周知していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%			10%		個人のファイルは鍵つきの書庫に保管を行っています。スタッフ教育も含め漏洩がないよう徹底いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	5%		5%	マスクを必ずつけ、感染の予防に厳しく取り組んでいる事は知っている。	事業所で定めた安全計画に基づいて、訓練を実施していきます。また、保護者様にも周知できるよう取り組みます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90%			10%	ビルの3階に避難したなど、子どもから避難訓練をしたと聞いている。	火災、地震、水害を想定してスタッフ、児童と避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90%			10%		安全点検を実施し、児童が安全に過ごせる環境で支援を行っています。周知についても徹底していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%			14%	・事故ではないが体調不良の場合など、すぐに連絡がきて対応してくれている。・事故がないのでわからない。	事故がないよう、児童の安全に注意して支援に取り組みます。小さなケガでも必ず説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%				行く日を自分でカレンダーにチェックしている。	安心して過ごせるよう、今後もスタッフ一同努力いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				楽しみにしている。・具体的に何をしたらかや、今日は何をするんだ等、よく話している。	常に活動に工夫をして、たのしいだけではなく、児童の自立につながるような支援に取り組みます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					常に、満足する事なく各児童の特性に合わせた支援を行っています。今後ともよろしく願いいたします。



	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		その日の児童受け入れ前に必ず打ち合わせを行い、支援内容と各スタッフの役割を確認して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		送りの時間が遅くなり、共有ができない場合は施設ライン、連絡帳を通じてその内容を全スタッフに到達して共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		各児童の療育日誌を作成して個別ファイルにまとめています。記録を日々取る事で次の支援や改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6か月ごとのモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。必要に応じ6か月以内でも見直しを行う場合もあります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	75%	25%	ガイドラインの基本に沿って支援を行いつつ、児童に特性に応じ組み合わせています。	周知できていないスタッフもいたので確認及び理解をしてもらいました。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		イベントやプログラムを通じ、自己選択できる場面の提供を活動時に行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		学校、病院、児相など、必要に応じケース会議を開き、また参加して情報共有を行い、支援に繋げています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		各学校の行事予定を把握し、時間割など通じて下校時間の確認を行っています。学校からの連絡会には必ず参加しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		利用前に担当者会議を実施し、情報共有できるよう対応しています。	
関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		利用する事業所から情報を求められた場合は、保護者様の許可の上、提出を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		必要な児童に応じて、連携を図り助言や研修を受けるようにしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		プログラムの中での公園遊びやボランティア活動で地域の児童たちと交流を図り一緒に活動を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		開催にあわせて出席をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡帳や送迎時に、その日の様子を丁寧に伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		毎月1回外部の講師を招き、療育会の開催を行っています。その中で必要な研修などの情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		運営規定は入口に提示。支援プログラムは入口に提示及び、HPにも公開しています。負担について契約時に説明をしています。	負担金額については更新時の会議も含め変更があった場合、速やかに説明をしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		モニタリングや日々の会話の中で本人、保護者様の要望を確認し、個別支援計画に記載しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		モニタリング時に支援内容の確認・説明を行い、計画書の作成後も改めて説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		相談があった際には、しっかりとお話を聞き情報提供や助言を行っています。	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会は今のところありませんが、どなたか参加など、イベントを通じ家族間での交流が図れる場を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情・相談対応マニュアル及び、苦情解決責任者を選定して、迅速かつ適切に対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月の行事予定を配布し、随時HPに行事の様子などを発信しています。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		全スタッフ、入社時に個人情報の守秘義務についての誓約書に承諾。日々の業務の中でも漏洩がないよう徹底して管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		情報の伝達が適切に行えるよう、例えば視覚支援を行うなど状況に応じた配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	昨年バザーを初めて行い、地域を意識した行事を企画している。	今後、必要に応じて企画できるよう検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		定期的に見直しを行い、各種マニュアルの整備を行っています。また、計画に基づいた訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		火災、地震、水害など災害の状況に応じた防災訓練を実施し、記録に残しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		契約前に確認を行います。また定期的なモニタリングや日々の打合せの中で変更があった場合は情報共有を行い、確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		現在、該当する児童はいませんが、該当する児童が利用する場合は、全スタッフが対応できるよう指示書に基づく支援を行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画を作成しています。その計画に沿った点検、訓練、研修を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		作成した安全計画を周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		社員・スタッフ会議、日々の打合せの中でその都度報告し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		毎月のスタッフ会議以外でも外部研修の情報共有も含め、取り組みを向上できるよう努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		現在、該当する児童はいませんが、毎月のスタッフ会議の中で議題に上げ検討を重ねています。	